

2024/8/12

東アジア資金部 ソウル室 +82-2-3782-5859

先週のマーケット動向(8月5日～8月9日)

為替、株式

	Open	High	Low	Close	Chg
USD/KRW	1,359.0	1,388.6	1,355.0	1,364.6	▲6.7
JPY/KRW	9.3341	9.6483	9.2522	9.2791	+0.079
KOSPI	2,611.30	2,611.30	2,386.96	2,588.43	▲87.76

(Source: SMBS, Bloomberg)

先週のドル/ウォン相場は粗い値動き。週初のドル/ウォンは1,359.0ウォン付近でオープン。米金利低下を受けて上値重い推移が続いたものの、アジア株安を受けて韓国市場でもサーキットブレーカーが発動。リスク回避の動きからドル/ウォンは1,370ウォン台半ばまで急騰した。6日も韓国株式市場から海外勢の資金流出が継続し、ドル/ウォンは堅調推移。7日もドル円相場が上昇する動きにつられウォンは軟調推移が続いた。8日は前日の海外時間に米株式が軟調推移したことで、韓国株式も軟調推移となり、海外勢の資金流出が継続。一方で、週末9日は米景気後退懸念が和らいだことでウォン売りが巻き戻され終盤にかけてドル/ウォンは下落。結局、前週末比▲6.7ウォンの1,364.6ウォン付近で引けた。(韓国時間15:30)

今週の見通し

今週のドル/ウォンはやや上値重い展開を予想。月初から続いた株式市場の調整は一旦先週末までで落ち着きを取り戻した。リスクセンチメントの改善を通じて海外勢による資金流入が続けばウォンは一段の上昇余地がある。一方、今週は米CPI・PPI・小売売上高といった重要指標の発表を控えており、様子見ムードも強まろう。米国の大幅な利下げ期待が和らぐにつれ、ドルも買い戻され、主にドル/ウォンは1,360ウォン台での推移を見込む。

予想レンジ

USD/KRW	JPY/KRW	USD/JPY
1350 ~ 1375	9.15 ~ 9.45	145.3 ~ 148.3

* USD/KRW chart (source: Bloomberg)



* JPY/KRW chart (source: Bloomberg)



今後の予定

- 13日(火) 米 7月 PPI
- 14日(水) 欧 2Q GDP 改定値
- 韓 7月 失業率
- 米 7月 CPI
- 15日(木) 米 8月 失業保険新規申請者数
- 日 6月 鉱工業指数 確報値
- 中 7月 小売売上高
- 中 7月 鉱工業生産
- 米 8月 NY連銀製造業指数
- 米 7月 小売売上高
- 米 7月 鉱工業生産
- 日 2Q GDP 速報値
- 16日(金) 米 8月 ミシガン大消費者マインド指数 速報値
- 米 7月 住宅着工件数

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。